

秋期企画展

水車は日本の原風景だ



川合玉堂「水声鳥語」(玉堂美術館所蔵)



揚水水車 (広島県、撮影: 河野裕昭氏)

2019年

9/21[土]

11/24[日]

開館時間 / 9:00 ~ 17:00

休館日 / 月曜日 (9/23、10/14、11/4 は開館)

一般 410円 (240円)

学生・高校生 200円 (120円)

※() 内は20名以上の団体料金

※中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方は無料



サテライト展示 (第1展示室スロープ展)



水車を見に行こうー埼玉県内で見られる水車ー

2019年9月4日(水) ~ 2020年2月2日(日)

企画展「水車は日本の原風景だ」のサテライト展示。県内で今も見ることのできる水車を写真で紹介。



埼玉県のマスコット
コバトン



彩の国
埼玉県

埼玉県立川の博物館

〒369-1217 埼玉県大里郡寄居町小園39

TEL.048-581-7333 FAX.048-581-7332

URL ▶ <http://www.river-museum.jp/>

E-mail ▶ web-master@river-museum.jp

Twitter ▶ <https://twitter.com/kawashirou/>

秋期企画展

水車は日本の原風景だ

当館敷地内にある大水車は、この夏に日本一の大水車として復活しました。今回の企画展はそのリニューアル記念として開催するものです。

水田の揚水やさまざまな動力源として活躍していた水車ですが、この数十年の間に大半が姿を消してしまいました。現在では公園や博物館などに復原されたものしか見るができなくなっています。

この企画展では、模型を利用して水車の構造や機能を解説するとともに、絵画や写真で記録された水車に「日本の原風景」を感じていただこうとするものです。



展示構成



- 1 水車のエネルギー
- 2 水車を描いた画家 - 川合玉堂・向井潤吉 -
- 3 水車を撮った写真家 - 河野裕昭 -
- 4 風変りな水車



葛飾北斎「富嶽三十六景 隠田の水車」(埼玉県立歴史と民俗の博物館所蔵)



藤原式揚水水車の模型(木更津市郷土博物館金のすず所蔵)



巾着田に復原された水車(日高市)



関連イベント



詳しくはホームページ参照、もしくは当館にお問い合わせください。

1 講演会「水車を旅する」

10/13 [日] 13:30~15:00

講師：河野裕昭氏(写真家・『日本列島現役水車の旅』著者)
内容：全国各地の水車を取材した状況を写真を交えて話していただきます。

[定員：80名(事前申込み)] / 参加費：無料

2 見学会「水車と野川と深大寺」

11/9 [土] 雨天順延:10日(日) 10:00~15:00

場所：武蔵野の水車経営農家(三鷹市、都指定文化財)、深大寺水車館(調布市)他

コース：JR中央線三鷹駅集合→武蔵野の水車経営農家→野川→深大寺→京王線調布駅解散

※昼食は深大寺そば(昼食持参可)

[定員：20名(事前申込み)] / 参加費：300円(資料代・保険料)



- 自動車
／ 関越自動車道 花園ICより8分
- 電車+徒歩
／ 東武東上線「鉢形駅」下車徒歩20分
- 電車+タクシー
／ 寄居駅下車タクシーで7分
- 駐車料金
／ 普通車 300円・バス 1,020円

